

鹿児島県 経営品質協議会 設立について

鹿児島県経営品質協議会設立趣意書

「経営の品質」が問われる時代になりました。

企業経営のみならず行政機関・各種法人組織・団体等においても同様です。

企業等が提供する個々の技術や商品やサービス等の評価にとどまらず、顧客の視点から企業等の組織活動全般の「経営品質」を評価する時代になったのです。

いまや、国の支援政策のキーワードも「経営革新」と「環境変化への対応」で、①経営革新に向けた自助努力により②経済的社会的環境変化への円滑な適応に常に挑戦し③経営基盤の強化に取り組む「やる気と能力のある経営者」の支援に重点が置かれています。

絶えざる経営革新と環境変化への対応を図りつつ組織の成長・発展を期するためには「変化しつつ安定する経営体質」を実現することが必要になります。そのためには①顧客・市場・社会のニーズをいち早く的確にとらえ②自社の競争優位性・独自性を発揮し③持続的に優れた業績を生み出す仕組みを作り出すことが基本的に重要であります。

そのための最も有用な手法が世界60カ国以上で実施されている経営革新のデファクト・スタンダードと言われる「経営品質向上プログラム」であるとされ、我が国では（財）社会経済生産性本部が米国の手法をベースに日本の風土に適合させた「経営品質向上プログラム」を構築して普及促進を図っております。ISOシリーズの認証に当たっても当プログラムの評価項目が加味されることが決定されるなどその客観性には定評があるところです。

本県に於いても、平成13年5月に発足した「経営品質向上研究会」の活動を通じて当プログラムに関する理解が一層深まってきております。さらに最近では、本県企業等にて「顧客本位」の経営革新を実現する基本的手法を学び、産業界全般の経営品質向上に寄与することを目的に、当プログラムの一層の普及・推進を図るため「鹿児島県経営品質協議会」を設立しようとする気運が盛り上がってまいりました。

また、このような動きに呼応して「鹿児島県経営品質賞（知事賞等）」も創設される予定であります。

貴台におかれても、当プログラムの有用性・意義をご理解の上、協議会設立の趣旨にご賛同いただき、この機会に会員として加入されますようお願いし、ご案内申し上げます。

平成15年12月吉日

【発起人】（氏名五十音順）

秋葉 重貴	鹿児島相互信用金庫 理事長	玉利 半三	鹿児島県中小企業団体中央会 会長
石井 祥	南日本銀行 頭取	徳重 芳久	鹿児島市役所 経済局長
大園 純也	南日本新聞社 社長	永田 行博	鹿児島大学 学長
大野 芳雄	鹿児島銀行 頭取	中村 敦雄	鹿児島信用金庫 理事長
大西 洋逸	鹿児島商工会議所会頭	前田 滋	鹿児島工業高等専門学校 校長
岡積 常治	鹿児島県商工観光労働部 部長	吉留 史郎	かごしま産業支援センター 理事長
豎山 博美	鹿児島県経営者協会 会長		